

人とともに 地域とともに 島根大学

*shimadai



グローバル 人材の育成

特色ある教育 ① 「英語教育」

vol. 37
shimadai

2018.7

【特集】COC人材育成コース 3期生入学

山陰地域の未来を担う！

COC人材育成コース第3期生が入学

島根大学は国立大学で唯一「地域貢献人材育成入試」を行い、山陰地域での地域貢献を志す学生を受入れています。この入試で入学した学生は、学部に加え「COC人材育成コース」に所属します。

COC人材育成コースは、4月に3期生となる入学生49名を迎え、6学部3学年合計約150名の学生が所属しています。今号では、コースの教育内容や彼らの成長の様子をお伝えします。



最大の特徴は 多様性の高い学びの場

コースの最大の特徴は、学部の枠を超えた多様性の高い環境での学びにあります。コース生をつなぐキーワードは地域。正課外のセミナーを中心に、専門分野・志向の違う仲間たちと、地域や社会にある「問題」の複雑性や多様な取組やチャレンジ、イノベーションの事例について学びます。

地域を包括的に理解するには、地域を深く分析して見る「虫の目」が必要です。これはコース生各自が属する学部・学科の専門教育で育てる視点です。さらには、全体を俯瞰する「鳥の目」や潮流を知る「魚の目」も必要です。セミナーにおけるコース生同士のディスカッションや、さまざまな地域の事例から「鳥の目」や「魚の目」の重要性にコース生たちは気付きます。同時に、「虫の目」が単眼ではなく複眼であるように、多角的に

鋭く分析していくための専門分野の掘り下げが必要とされることを理解します。

最前線の事例を通し 課題解決スキルを伸ばす

正課外のセミナーのひとつ「未来づくりセミナー」は、1か月に一度自治体や関連団体から取組事例を講義していただきます。このセミナーは、ケーススタディーであると同時に、地域課題解決に必要なスキルも学べるよう設計されています。例えば、情報の構造化、アイディアーション、コミュニケーション、ディスカッション…また、異学年構成で取組むため、メンタリングやファシリテーションのスキルも身につけていきます。

このように、このコースの正課外セミナーでは、地域の最前線の事例を学びながら、今後地域で活躍していくための素地づくりをしています。

Vol.37 CONTENTS

- 留学生・留学体験紹介 07
- 島根大学の研究・地域貢献事業紹介
- ①教育学研究科 大谷 みどり 教授 09
- ②医学部 山口 修平 教授 11
- ③総合理工学部 李 樹庭 准教授 13
- 特色ある教育 15
- 社会で活躍する卒業生
- 社会保険労務士 糸原 るい さん 17

- しまだい便り 19
- しまだい×島根のまち 23
- しまだいのs サークル 25
- 島根スサノオマジック活動紹介
- 島根大学支援基金寄附者一覧
- 読者プレゼント 26

企画・制作
株式会社メリット
デザイン
有限会社node
タイトルロゴデザイン
松陽印刷所デザイン室 森脇 祥吾

1年生

入学セミナー・
フレッシュマンセミナー



このコースの1年生は、入学直後の時期に行われる「入学セミナー」で、初めて他学部のコース生と顔を合わせます。このセミナーの恒例となった『志』ワークショップでは、「志カード」に卒業後の自分像を表現、互いに発表し、コース生としてのスタートを切ります。



1年生対象の合宿形式の「フレッシュマンセミナー」では、地域はどのような人々によって担われているのか、体験を通して学びます。今年も6月に雲南市で実施し、波多地区および入間地区で、各地域自主組織の取組について学びました。質疑応答で、いずれの地区も年間数百人、ときには海外からも視察があるということを知り、参加学生はとても驚いていました。

そういった外からの関心の根本を探るため、セミナーでは最後に「つながりの可視化ワーク」を行いました。二つの地域での体験を元に、さまざまな役割を持つ「人」や「施設」が、どのように関連しあうかを協働作業で図解しました。図を作る過程で、地域がどのように成り立っているのかに加え、持続可能性を高めるための課題にも気づくことができました。

知らない地域を知ることで
可能性が見えてくる

僕は東京都出身で、しまね留学の制度を利用して島根県の高校で学んできました。フレッシュマンセミナーで訪れた波多や入間は、例えば廃校になった校舎ひとつとっても、自分が知っている地域とは違う形で活用がされていることに驚きました。他のコース生との交流も深まり、考え方や興味の持ち方の違いも自分の学びにつながりました。また、経済における農業の可能性についてとても興味がわき、学びの多い2日間になりました。



法文学部 法経学科 1年
榎本 一仁

人とともに 地域とともに 島根大学

*shimadai

広報しまだい
himane University

2018.7 vol.37

【特集1】

COC人材育成コース
3期生入学 01

【特集2】

古代出雲文化フォーラムVI 05

2年生

キヤップストーン科目

「地域課題解決プロジェクト」

自分が大学で得た専門的な知識や技能は、地域課題解決にどのように活かせるかその方法を実践的に学ぶ科目を、島根大学

では「キヤップストーン科目」と呼んでいます。全学に約120科目あり、その多くは各学部の専門教育科目として開講されますが、そのなかに、COC人材育成コースの学生のみが受講可能なキヤップストーン科目「地域課題解決プロジェクト」があります。

「地域課題解決プロジェクト」



がほかのキヤップストーン科目と違う点は、COC人材育成コースの特徴でもある学部横断型の学習環境であることと、自治体との連携のもとで実施されることです。昨年度よりコースの2年生を対象に後期に開講し、大田市が取り組むヘルスツーリズムを題材に、課題解決のプロセスを実践的に学びます。



フィールドワークを中心とした情報収集と現状分析に基づく問題点の抽出、問題解決のための課題の設定、および具体的アクションを「改善プラン」として企画します。最終成果物は改善提案書として大田市に提出し、大田市の今後のまちづくりに役立てられます。今年も後期に開講予定で、多くのCOC人材育成コースの2年生が課題解決に挑戦します。

**地域を学ぶからこそ、
もっと専門の勉強を
したくなる！**

キヤップストーン科目を履修する学年になり、COC人材育成コースの先生とも面談しながら、挑戦したいことや身につけた知識とスキルを整理し、自分の学びをデザインしています。ベースストーン科目※「山と日本人」での学び、フレッシュマンセミナーで学んだ雲南市のバイオマス事業、今参加している地域活動…1年生で経験した様々なことを自分の中で集約し、その共通点の山や森林と人・地域をさらに探究したいと考えています。



生物資源科学部
農林生産学科
森林学教育コース 2年

正木 那央

注) ※地域を知るための基礎的な科目群

3年生

地域共創
インターンシップ



COC人材育成コースのカリキュラムの総仕上げとして、3年生は主に3年次に山陰地域にて中長期のインターンシップを受講します。各学部で専門分野に特化したPBL型のインターン

シップが組まれることもあれば、ここで紹介する「地域共創インターンシップ」を受講することもできます。

「地域共創インターンシップ」では、コース生自身のチャレンジしたい取組に応じ、島根大学地域未来協創本部やキャリアアセンターが、学生・地域とともにインターンシッププログラムを組み上げていく全く新しいインターンシップです。受入れ先は、約150の「しまね協働教育パートナーシップ」の提携先を中心に、地元企業のほか、地域づくりの現場にも派遣を予定しています。

このインターンシップの受講に先立ち、コース生の3年生は、この学年で得るべき学びについて学別ガイダンスで確認を行っています。さらに、個人面談で、自身のキャリアデザインを検討し、地域での中長期インターンシップにむけた準備を開始しています。

課題解決の現場から、
さらに深く学びたい

実際に自分の家の周辺にも空き家が複数あり、そのような状態は、景観が悪くなるだけでなく何となく町全体も沈んで見えるものです。私はこの地域課題を、建築の分野から解決したいと考え、学んでいます。この夏の地域共創インターンシップでは、古民家改築を手掛ける地域の建築会社にお世話になる予定です。大学の学びの場から、現場に入って学べることで体が楽しみなので、そこから全力で学び取り、将来、そこで学んだ知識と経験を地域に還元したいと考えています。



総理工学部
建築・生産設計工学科 3年
村村 広人

注)※オールしまねCOC+事業「しまね協働教育パートナーシップ」プロジェクト <http://www.allshimane.shimane-u.ac.jp/project03/>

COC人材育成コースも3年目となりました。3学年がそろい、先輩・後輩が共に学びあう学生のコミュニティが形成されつつあります。

一方島根大学では、このコース以外の学生にも、島根県が課題先進県だからこそチャレンジにあふれ、魅力的な人・もの・コトがたくさんあることを知ってもらいたいため、島根県とともに6つのバスツアーを5月末〜6月初旬に開催しました。訪問自治体である出雲市、大田市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町にも協力いただき、これまでに120人以上の学生・教職員が地域の魅力に直に触れ、大変好評を得ています。島根大学で取組まれる地域志向教育とも連携し、さらなる展開が期待されます。



飯南町ツアーの様子

『出雲国風土記』をめぐる出雲と東海の関係に迫る 古代出雲文化フォーラムVIを開催



古代出雲と東海地域の 深い関わりを読み解く

3月3日(土)、愛知県名古屋市の名古屋国際会議場において「古代出雲文化フォーラムVI」古代出雲と東海」を開催しました。本フォーラムは、島根大学の幅広い学術研究成果等を発信し、本学の知名度・存在感の向上を図るとともに、島根地域への誘客につなげることを目的に、平成25年より開催しています。

今回のテーマは「古代出雲と東海」です。今から1300年前に編纂された『出雲国風土記』の内容には「尾張国風土記逸文」との説話構成等



会場となった名古屋国際会議場。当日は約610名の方々が来場され、大盛況のうちに終わりました。

の共通性、東海地域との交流を示す一端が垣間見えます。また、『出雲国風土記』が現代に伝えられる過程の中で、日御碕神社に尾張藩初代藩主徳川義直が写本を奉納するなど、深い関わりがあることが分かっています。この両地域の地域間交流や東海地域がどのように関連するののかについてフォーラムを通して迫りました。

服部泰直学長の開会挨拶の後、第一部ではまず、法文学部の大日方克己教授と大橋泰夫教授、出雲弥生の森博物館の三原一将博物館学芸係長、島根県古代文化センターの平石充専門研究員の4名により、『出雲国風土記』の内容や現代に伝えられていく過程と東海地域との深い関わりについて講演が行われました。第二部では、本学総合博物館の会下和宏教授のコーディネートにより、第一部で講演した4名の先生方による座談会が行われ、各専門分野の見解を語りながら講演の内容についてさらに掘り下げました。

本フォーラムを機に、古代出雲や『出雲国風土記』に興味を持ってもらい、実際に島根の地を訪れ、古代出雲の世界を体感し、本学及び島根県のファンとなつていただけるように、さらに研究を進めていくことで終えました。

古代出雲文化フォーラムVI ダイジェスト

講演者が語る 古代出雲の世界

掘り出された『出雲国風土記』の世界

大橋 泰夫
(島根大学法文学部教授)



『出雲国風土記』に示された出雲国の姿は、7世紀頃末に出雲国府が成立したことを契機に様々な整備が一体的になされた状況を示している。特に国府が成立されたことにより、地方と都を結ぶ大規模な直線道路、この地域で言えば山陰道等の交通体系の整備、これらの幹線道路沿いに国分寺を建立したことによる、出雲国内での仏教の広がりなどが、近年の発掘調査の成果等からも分かってきている。

『出雲国風土記』と東海

平石 充
(島根県古代文化センター専門研究員)



『出雲国風土記』と尾張国風土記逸文は、それぞれの地域の情報が満載だが、紹介されている伝承等で共通性や連続性が見られ、地域間の交流の形跡をうかがわせる。6世紀前半には大和政権と島根半島側で人や情報が共有されていたことを示す。このことは、継体天皇の時代に大和政権が朝鮮半島に至る日本海へのルートを掌握していたことに由来する。

古代出雲の情景 ～夕日に捧げる祈り～

三原 一将
(出雲弥生の森博物館学芸係長)



『古事記』等に出雲が「黄泉国」と現世をつなぐ地として描かれているのは、古代の人々が出雲は「日が沈む海の彼方の異界につながる地」として認識していたからと考えられる。また、日の入りにちなんだ社として、天日隅宮(出雲大社)、日沉宮(日御碕神社)が祀られてきたように、出雲の人々にとって夕刻は格別なものであり、夕暮れ時の挨拶「ばんじまして」にも出雲の人々の心情が垣間見える。

古代を探し求めて —『出雲国風土記』と東海の人々

大日方 克己
(島根大学法文学部教授)



『出雲国風土記』にまつわる近世の研究には東海地方の人々と深いつながりがある。日御碕神社に尾張藩初代藩主徳川義直が奉納した『出雲国風土記』日御碕神社本からは多数の写本がつくられ、17世紀末には出雲国風土記の最初の研究書である『出雲風土記抄』が松江藩士により作られた。またこれが大きな影響を与え、内山真龍(遠江国の国学者)が出雲実地踏査旅行を行うなどしている。

次回開催予定
古代出雲文化フォーラムⅦ
「古代出雲と吉備」
●平成31年3月3日(日)
●さん太ホール(岡山県岡山市)



フォーラム出張版
古代出雲文化フォーラムⅥの出張版として、12月～2月の3回にわたり、島根大学のサテライトオフィスがある広島市で講師の先生方による特別講座を開催しました。例年多くの申し込みがあり、山陽地域での島根大学、島根県の魅力の発信の一端を担っており、今年度も開催を予定しています。

国境をこえてチャレンジする学生たち

留学生・留学体験紹介

Shimane ∞ World

現在島根大学では、世界28か国・地域、89の大学・機関と交流協定を結んでいます。毎年、多くの島大生が海外へ留学し、多くの留学生が海を渡ってやってきます。留学経験のある学生に、留学体験について伺いました。



TO



留学先

アーカンソー大学
(アメリカ)

きたむら みづき

北村 美月 さん

(総合理工学部 地球資源環境学科4年)

周囲の協力のおかげで
英語嫌いを克服できた

留学に興味はありましたが、私は英語が
できず自信がありませんでした。先生の後
押しもあり、英語嫌いを克服しようとしてアメリ
カでの4週間の研修に参加しました。お世
話になったホストファミリーがとても親切
で、家ではずっとリビングにいて、たくさん話
をしました。最初は思っていることを伝える
のに苦労しましたが、いつの間にかスムーズ
な返しができるようになっていました。勉強
としての英語ではなく、言語として英語を
話せるようになったと実感しています。ホス
トファミリーはもちろん、様々な国のクラス
メイトにも恵まれ、すぐに環境に馴染むこ
とができ、帰国したくないと思うほど充実
した時間でした。今後は、研究での留学も
視野に入れて、英語も自分の専門分野もさ
らに学びを深めていきたいです。



1.ホストマザー、ホ
ストファミリーの弟
さんとともに、大学
の体操の試合を観
戦しました。2.学
校の友人達と昼食
にメキシカン料理を
食べに行きました。

FROM



出身校

吉林大学 (中国)



マ・ホエン
馬 保園さん
(教育学部 特別聴講学生)



1. 日本に留学するきっかけとなった先生と、東京で再会を果たしました。2. 授業の見学で小泉八雲旧居に行きました。

日本の生活の良い部分を 中国に戻ったら伝えたい

吉林大学にいた日本人の先生から、日本についてたくさん聞いていました。その先生が帰国される際に日本で会いましょうと言われ、絶対に行こうと思ったのが留学のきっかけです。留学後は、先生に会いに東京へ行き、約束も果たせました。

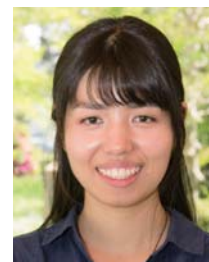
島根大学では、日本語の授業に加えて学部の専門科目も多く受講しました。授業が終わった後には宿題、週末はアルバイトと、忙しいながらも充実していました。日本での生活は、自分で様々な課題を解決していかなくてはならないため、自立心がより強くなりました。中国に戻ったら、自分の留学経験を、後輩はもちろん先生方にも伝えたいです。将来の夢はまだぼんやりしていますが、日本語を使って、日本と関わりのある仕事に就けたらと考えています。

TO



インターン先

王立植物園 (オーストラリア) ほか



よしもと なるみ
吉本 匠美さん
(生物資源科学研究科
農林生産科学専攻 2年)



1. ニュージーランドでは、Workawayのシステムを利用しながらバーマカルチャー(環境と人にやさしい持続可能な生活デザイン)を学びました。2. オーストラリアの王立植物園。

島根に憩いの場を作りたい 自分の熱意に素直に

私には、島根に海外の植物園のような憩いの場を作りたいという夢があります。3年生でオーストラリアへ8か月間留学した際に、毎日足を運ぶほど、お気に入りの場所があり、日本にも作りたいと考えるようになりました。

その後植物園経営を学ぶために、トビタテ留学JAPANを利用して、インドネシア・オーストラリア・ニュージーランドの植物園でインターシップを行いました。現場を目の当たりにして、自分の夢は非現実的だったことが分かりましたが、違った形での憩いの場を作りたいという想いは今も変わっていませんし、自分の熱意に素直にいたいと思っています。ただ、実現にあたっては、様々な分野の知識・技術が必要です。留学で培ったコミュニケーション力を活かして、人脈を広げていくことが直近の目標です。

文化の違いを理解し、 互いを認め合った コミュニケーションを

違いの認め合いから
深い理解に

大谷教授が異文化コミュニケーションに関心を持ち始めたのは、約30年前。雑誌社で取材記者として海外の人と接していた時でした。「取材の仕方もアポの取り方も日本人とは違って驚きました」。違いの理由を知りたくて渡米。3度に渡って通算12年間を海外で過ごし、学生生活だけでなく、仕事や子育てでも経験しました。生活の様々な面で異文化を目の当たりにし、相手の文化的背景を理解してコミュニケーションを図る重要性を実感したそうです。

「日本人は遠慮や謙遜を美とする価値観がありますが、アメリカでは例えば、褒められた時には素直に

日本人が当たり前前に思うことでも、外国人にとっては違和感を覚えることがあります。文化的背景や環境、生活習慣などが違えば、行動パターンや考え方も異なってくるからです。違いを知った上で相手を理解する「異文化コミュニケーション」について教育実践開発専攻の大谷みどり教授に聞きました。



PROFILE

教育学研究科 教育実践開発専攻

大谷 みどり 教授

おおたに

3度目に渡米した時には長女が小1、長男は3歳でした。アメリカではベビーシッター制度も充実していましたが、幼い子連れて大学の授業を受けたり、教授を訪ねたりすることもよくありました。子育てと勉学の両立が当たり前を受容できていましたね。



2



4



3



1

1. アメリカの研究者との共同研究で訪問した現地小学校の視察風景。2. 昨年の12月に教育学部棟で開催した「島大 English Day」の様子。3. 教育学部附属中学校で開催した「附属中学校 English Day」。4. 小学生での外国語活動・外国語で使われている教材。左からそれぞれ小学3年生、4年生、5年生、6年生用。

個々の子供に合わせた 支援の在り方を研究

近年力を入れているのが、英語に苦手意識を持つ子供たちへの学習支援です。英語教育に特別支援教育の視点を導入し、二人ひとりの特性を考慮した支援の在り方の研究を進めています。「従来は画的に、例えば、単語を何十回も書いて覚えさせていました。しかし書くのは苦手でも、聞いたり、見たりして覚えるのは得意な子もいます。書く紙の材質や英語ノートの罫線に工夫を凝らすことで、学びやすくなる子も。タブレットやタッチパネルなどの利用も有効です。子供によって学び方、認知の仕方が違うことを理解すれば、さらに能力を引き出せるのです」と大谷教授。学校現場の教師のニーズも高く、企画した研修会には毎回100人近く参加があるそうです。「個々の子供に合わせた学習支援は算数や国語などの教科でも大切です。しかし母語ではない英語では、内容の理解の前に言葉でつまづく可能性が高いので、より重要だと考えています」。

『ありがとう』と答えた方が好まれます。学校の授業中に頻繁に挙手すると、アメリカでは「分かつていることを共有するから良い」とされ、日本では『挙げ過ぎ』とされることもあり、どちらが良いとかではなく、価値観の違いです」と大谷教授。「文化は、国だけでなく、性別や年齢、職種・学校種など様々な関係性に当てはまります。互いを異なる所もある存在だと認識して、背景を理解しようとすることでコミュニケーションがスムーズになると思います」。

子供たちが異文化に自然に触れられるよう、様々な活動もされています。英語によるワークショップという形で、島根大学留学生と附属中学校の生徒との交流を5年間実施。昨年度は松江市などの小学5、6年生を大学に招き、お菓子作りなどを通してバン格拉デシユや中国など7ヶ国の留学生らと楽しく接する機会を設けました。「島根大学の留学生は非英語圏の人が多くので、多様な文化に触れたのでは、『もっと話せるようになりたい』『外国に行ってみたい』などの感想が多く、異文化に慣れ親しみ、英語を学びたいと思ういい機会になったようです」。

スクリーニングアプリや 機能的MRIを活用し 認知症の早期発見を

気軽に認知検査を
無料アプリの開発

認知症の病気で最も代表的なものがアルツハイマー型認知症です。脳の中にβアミロイドタンパクと呼ばれる異常なタンパク質の塊がたまり出すことが、原因の一つとされています。次第に脳全般に多数蓄積することで、正常な神経細胞を壊し、脳の萎縮を進めると考えられています。しかし症状が表面化するのには10年から20年後。普段見ることができない脳の中で徐々に進行してしまふため、早期発見が求められています。

長年、疾病予防の観点から地域の住民健診にも力を入れてきた山口教授は、認知症の早期発見を

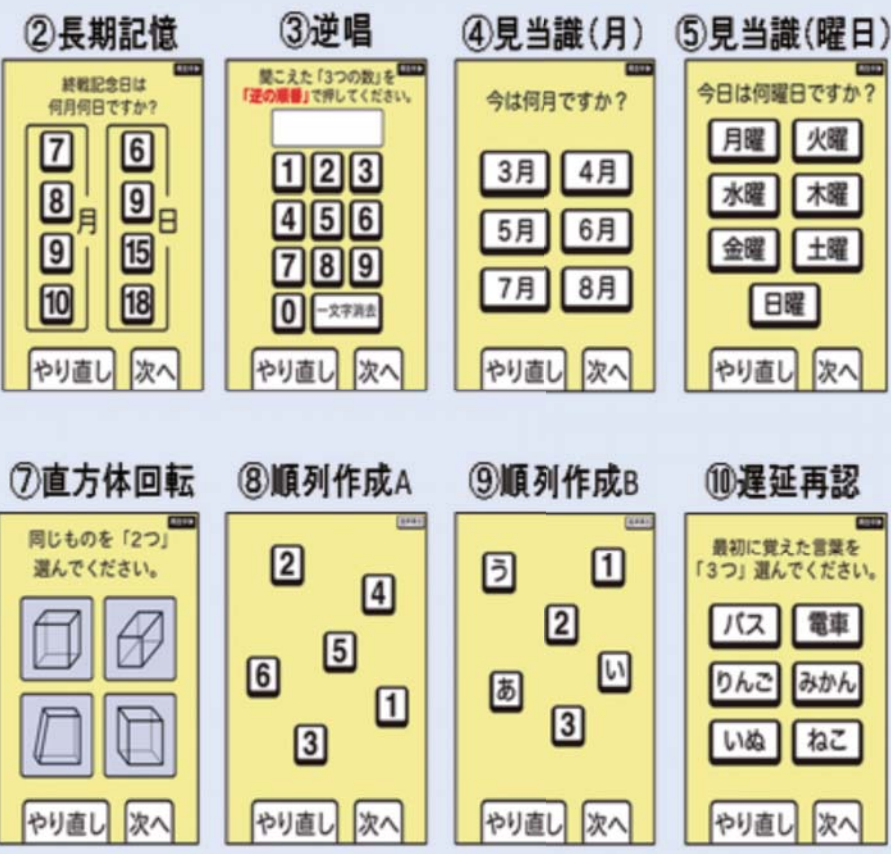
アルツハイマー型認知症は、脳内の異常タンパク蓄積が原因だと指摘されています。しかし症状が現れるのは蓄積開始から10年以上経過してからであり、早期発見・早期治療が求められます。長年脳機能の研究を続け、認知機能の検査アプリも開発した医学科内科学第三の山口修平教授に聞きました。

PROFILE

医学部 医学科 内科学第三

山口 修平 教授
やまくち しゅうへい

兵庫県出身ですが、京都大学卒業後、アメリカへの二度の留学以外はずっと島根で生活しています。健診を通して地域との関わりも多いのですが、人の繋がりが強い地域だと思います。2年後の退官までに認知症に関係した仕事を一つでも完結させたいですね。





2



4



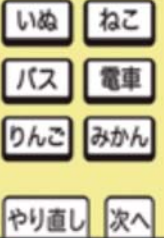
3

1.現在公開されている「CADi」の最新版「CADi2」の設問の一例。問題数は10題で検査時間は5分程度で、認知症の早期発見に広く利用されている。2.住民健診で「CADi2」を使った検査の様子。3. iPhoneバージョンの「CADi2」のトップ画面。他にもiPad、パソコン (Windows) に対応している。4.医療分野におけるICTの利活用により、総務省に表彰された。



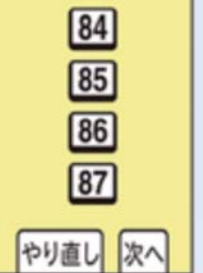
①即時再認

覚えた言葉をこの中から「3つ」選んでください。



⑥計算

93-7=? いくつですか?



1

簡単に行えるスクリーニングアプリ「CADi(キャディー)」を開発。「以前から健診では認知検査を実施していましたが、保健師らによる1対1の対面だったので時間はかかるし、高齢者の心理的負担も少なくありませんでした。誰でもどこでも容易に使える検査方法があれば、と考えたのがきっかけです」。iPadやパソコンにアプリをダウンロードし、ヘッドフォンで問題を聞きながらタッチパネルで解答すれば認知症の疑いの程度が示されます。精度が良く、使いやすい上、無料ということもあり、県内外の多くの自治体や企業などが採用。海外からの問い合わせもあるそうです。2014年にはICT利用の推進に多大な貢献をしたとして、総務省からも表彰。「認知症らしい人」を見つげるための二次検査ですが、気軽に使えることで早期発見につながれば」と話します。

脳内の血流の変化から 病状の進行を阻止

また、脳内の血流の変化を測定できる「機能的MRI」を用いた脳機

能の研究も長年続けています。脳には機能の異なる多数の領域が存在し、互いに情報のやり取りをしています。そのうち、安静時に血流が増加する特異なネットワークでは、加齢によつて機能的な結合が低下することが分かっており、認知機能との関連も明らかになりました。「機能的MRIを用いれば、重度の症状が出る前に脳の変化を知ることができま

す。認知症の前段階と言われる「MCI(軽度認知障害)」の時点で対応をとることで、症状の進行を遅らせることも可能なのです」。

機能的MRIなどを使って脳の健康診断を行えるのが、脳ドックです。島根大学は全国的にも先駆けて約30年前から実施。受診者には毎年アンケートを行ったり、必要と思われる人には検査費用を一部補助して再度の受診を呼びかけたりするなどのフォローも継続。8000以上ものデータを元に認知症や脳梗塞などの病気に関係する危険因子を調べています。「これほど長期間のデータを蓄積しているのは国内でも他にないかもしれません。島根大学にしかできない科学的エビデンスの発信をしたい」といいます。

小型軽量高効率の 波動歯車装置を開発 産業用ロボットにも

特殊な歯車装置で
精密で複雑な動きを

円板の外周か円環の内周に歯形をつくり、次々にかみ合う歯によって動力を伝達する機械要素の一つ、歯車。この歯車などを使って回転速度を落とす代わりに、大きな力を出すことができるのが減速機と呼ばれるものです。複雑で正確な動きを要求される産業用ロボットの関節や工作機械の駆動部などには、精密で特殊な減速機が使われています。

「たとえば手術用のロボットに使われる関節には数ミクロンの精度が求められます。人間の手のように柔らかくしなやかで、かつ目的の場所での確に動くことのできる精度が必要なのです。さらに軽量でコンパ

産業用ロボットを始め、車や船、航空機など、現代の生活に不可欠な機械を動かすのに必要な要素の一つが、動力の速度を落とす代わりに大きな力を生み出したりできる特殊な歯車装置です。機械・電気電子工学科の李樹庭准教授は、この分野の国内第一人者として30年以上研究を続けています。

PROFILE

総合理工学部 機械・電気電子工学科

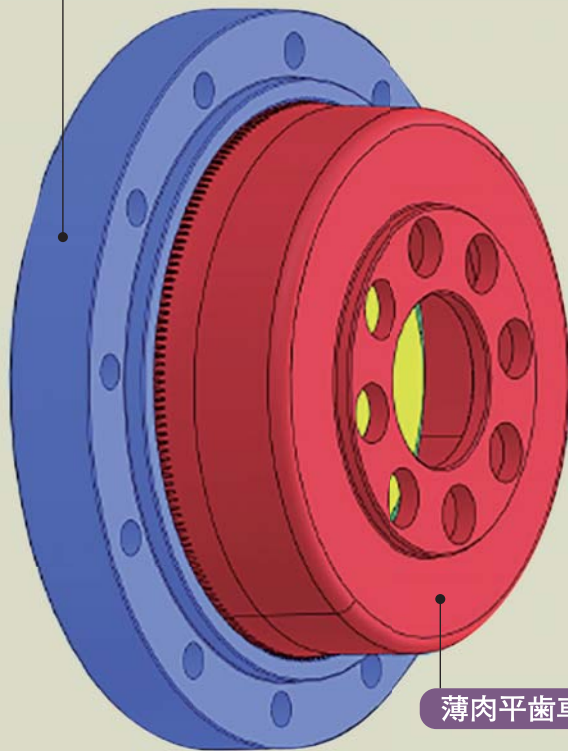
李 樹庭 准教授
リ じゅてい

1歳の時に中国から連れてきた子供も既に25歳になりました。日本は社会が平等で、皆がルールを守りながら協力して生活している点がすごいと思います。忙しい日々を送っていますが、休みの日には大山や三瓶山、枕木山など近くの山に登ってリフレッシュしています。



装置の3D製図技術

内平歯車

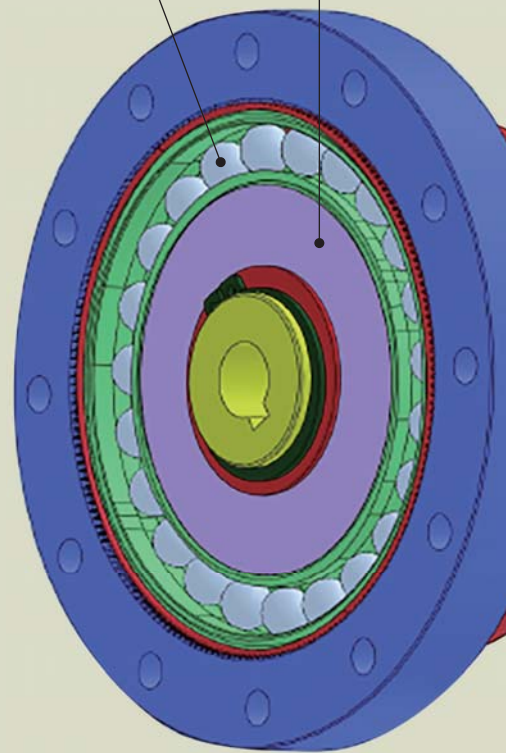


薄肉平歯車

波動歯車

薄肉ベアリング

楕円状のカム



2



3



4

1.李准教授が設計した波動歯車装置の3D製図。2.自作の歯車装置のねじり剛性測定機。他にも数種の実験装置を自作している。3.大手メーカーのスタッフとの研究成果に関する懇談風景。国内外から企業関係者が訪れる。4.東京都大田区で開催されたフェアで講演する李准教授。

1

クト、タフで長持ち、騒音を出さないことも大切です」と李准教授。減速機にはさまざまな種類がありますが、李准教授が特に力を入れてきたのが、小型軽量高効率で多くの産業用ロボットなどに使われている「波動歯車装置」です。楕円と真円の差動を利用した減速機で、ホンダのASIMOやNASAのマーズローバー探査機などにも使われています。「現在、波動歯車装置の設計や構造に関する研究をしているのは国内では唯一、島根大学だけです。この研究には長年の積み重ねが必要なので、なかなか続けられない大学が多いようです。最先端の研究をしているという自負はありますよ」と笑います。国内外の企業からのオファーも多く、大手企業との共同研究もたくさんあります。研究成果をまとめた論文は、世界トップ機関を含む約30ヶ国の60以上の研究機関に引用されているそうです。

高度な機械要素技術を世界の最先端で研究

李准教授が特殊歯車装置の研究を始めたのは大学院生だった約

30年前。指導教員に勧められて、中国の産業ロボットと航空機の開発国家プロジェクトに参加したのがきっかけでした。今も中国の航空機のトランスミッションには、李准教授やその先輩、後輩の研究実績が生かされているといいます。「知識の積み重ねと応用で今に至っています」。

自らプログラムソフトを開発して、歯車装置の運転性能や強度・振動解析問題などを解決できる理論を作り、既成品を活用してシミュレーションを実施。測定結果と理論を突き合わせながら検証を重ね、理論を修正していきます。「機械は難しい分野ですが、コンピュータの力と人間の頭脳を組み合わせるとさまざまな可能性を高めていける点が面白いです」。ヘリコプター用の薄くて軽い「薄肉歯車」や、大型ロボットに使う「ピン歯車装置」なども世界最先端の研究を進めています。「昨今人工知能などソフト面がクローズアップされることが多いですが、製造業の基盤を支える高度な機械要素技術は日本の宝です。可能性はまだまだ広がっています。その重要性を国にも地元企業にももっと伝えていきたいです」。

島根大学のココがすごい!

特色ある教育 1

今回紹介するのは… **英語教育**

松江キャンパス

特別副専攻 英語高度化 プログラム

将来海外留学や大学院進学、就職等に高度な英語力を必要とする学生を対象に、英語コミュニケーション能力を身につけるとともに、英語圏の文化事情や現代社会の諸課題を学びつつ、グローバル社会で活躍するために必要な資質(グローバル・リテラシー)を身につけることを目的としたプログラムです。

最終目標は
グローバル人材になる!

このプログラムの一

番の特徴は語学力を伸ばすことが最終目標ではないことだと思えます。世界で活躍する人材になるため、21世紀を生き抜くために必要なスキルや、グローバル人材として求められるリーダーシップなど、「英語を使うグローバル人材としてどう行動するか」まで、授業で学ぶことができます。また、



学んだことを実践する場もありません。授業で英語能力やスキルを学びながら、それを実践する機会が多くあります。国際交流イベントに参加する機会が多くあるのももちろん、自分たちでイベントを企画する授業

紹介してくれた人



小室 広紀さん
教育学部
言語教育専攻4年

泉 菜里さん
法文学部
言語文化学科4年

もあり、インプットとアウトプットを両方行える環境がありました。

身に付いたのは
英語力だけじゃない!



入学時に比べて英語力が上がったのはもちろんですが、英語力だけでなく、時間管理の方法や、物事を表面的ではなく深く考える力、自分の意見を的確に相手に伝える力、プレゼンテーションスキルなど、英語を使いながら本当に多くのことを学んだように思います。さらに、異なる文化の学生と一



緒に授業を受け意見交換をする機会が多く、当たり前が当たり前でないこととの連続でした。自分と全く異なる価値観、意見を持っていても否定するのではなく、一つの考え方として理解するようになりました。

英語を使って一歩先へ
就職活動でもアピール

私の場合、直近の就職活動で活かされました。英語力だけでなく、英語を使って何ができるのかをアピールすることができました。英語力のその一歩先までアピールすることで、他の就活生との差別化を図れたと思います。また、履歴書に「英語高度化プログラム修了見込み」と書けるので、身に付いた能力をきちんと証明できたことも良かったですね。



就職活動に限らず、留学やTOEICの試験勉強でも役立つと思いますし、考える力やプレゼン能力は、学生・社会人問わず必要な能力だと思います。



就職活動に限らず、留学やTOEICの試験勉強でも役立つと思いますし、考える力やプレゼン能力は、学生・社会人問わず必要な能力だと思います。

島根大学では、学生が主体的な学びを通じて幅広い知識、広い視野、総合的な判断力を身につけ、人間への理解を深めるとともに、豊かな世界観を育むことを目的とした、様々な特色ある教育プログラムを展開しています。今回は、松江・出雲それぞれで開講されている英語教育を紹介します。



出雲キャンパス

アドバンスト・イングリッシュスキルコース

医学部では、英語必修科目以外でさらに英語力をつけたいと希望する学生を対象に、医学部独自の英語高度化プログラム「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」を平成25年度から開講しています。学生は自分のニーズやレベルにあった科目を自由に選択して履修できます。

個々の目的に応じて受講できます

島根大学は英語を勉強するのに最適な環境です。先生方はいつでも相談に乗ってくれますし、英語を話す機会のあるイベント等もあり、自分のペースに合わせた勉強ができます。私は英語の先生に勧められてこのコースを受講しました。以前、1週間のオーストラリア旅行に行った際、もっと英語が話せたら楽しいのと思いき、先生に相談したことがきっかけでした。このコースでは、自分だけでは学びにくい能力が身につけられるので、履修して良かったと実感しています！



授業はほぼ英語！内容も実践的です

アメリカで英語の授業を受けているような感じですね。先生がネイティブなので、日本語はほとんど出ないので、リスニング強化にも最適だと



紹介してくれた人



松本 響平さん
医学部
医学科4年

吉田 純侖さん
医学部
医学科4年

思います。英語だけでなく、身振り、手振りなどがアメリカではどのように相手に解釈されるかなども学ぶことができます。文法に忠実な日本での英語教育とは180度違って、明るく、楽しく、自然に英語を学ぶことができます。1〜6年生までどの学年でも参加できるので、多くの接点を持てるのも良いですね。

日常会話から留学まで磨いた力を活かす場は様々

ネイティブの人たちとスムーズに日常会話ができると思いますし、学会などで質問する際にも、発表者の話している事が100%分かっていると少ししかわからないのでは、質問の質も大きく異なると思っています。また、留学する際にも非常に活用できると思いますね。スピーチやプレゼンの能力は、英語に限らず実用できると思っているので、そのような場面ではどんどん活かしていきたいです。



社会で 活躍する 卒業生

A graduate of
Shimane University

No. 01

社会保険労務士

Profile

糸原 るい さん

糸原社労士事務所 代表
株式会社メディアクト マネージャー

2010年3月島根大学法文学部法経
学科卒業後、NHK松江放送局でカ
メラマンアシスタント、中小企業団
体中央会で中小企業支援等に従
事し、2014年雲南市のNPO法人
おっちラボに勤務。2016年より同市
に本社を置く経営コンサルティング
会社株式会社メディアクトに勤
務、2017年12月社会保険労務士
登録、糸原社労士事務所を開業。

卒業後も様々な分野で活躍する
島大OB・OG。その中から、山
陰をフィールドに活躍する注目の
人を紹介するシリーズ企画です。
今回は、社会保険労務士として活
躍する糸原さんに、現在の活躍と
そこまでの道のり、島大で得たも
の等をうかがいました。

労働分野を強みに
社会保険労務士として
島根県東部で活躍

社会保険労務士として雲南市に
自らの事務所を構える糸原さん。

島根県は全国で最も社労士の数が
少なく、雲南市で開業しているの
は糸原さんを含めてわずか2名で
す。昨年12月に社労士登録、事務所
を開業して以来、雲南のみならず、
松江や出雲にもクライアントをか
かえ、忙しい毎日を送っています。

企業の労務に関する相談や、各
種助成金の申請相談、就業規則の
作成など、業務内容は多岐にわた
ります。「近年、働き方改革という
言葉をよく耳にされると思います。
全国的に企業の人手不足が続く中



大学時代は写真部に所属し、いろいろな場所
へ撮影に行ったそうです。フィルムで撮影して
現像するのも楽しみのひとつだったのだとか。



1日に1~3件、クライアント先を訪問。経営者の方々と話す機会も増え、改めて島根には面白い人たちが多くと実感しているのだとか。

で、一人あたりの労働生産性を上げていく必要があります。企業からのそういった相談がかなり増えています。例えば、人材の定着や離職を防ぐ取り組みなどをご提案したり、有給休暇の取得率の向上、育児休業・介護休業制度の導入支援を行うことも多いです」。

とにかく積極的に！ 充実した大学生活で 自分の視野が広がった

大学時代は、法経学科の国際政治ゼミに所属していた糸原さん。卒業研究では、中国と日本が東南アジアに対して行う開発援助のあり方の違いを研究し、NPOのスタディツアーでカンボジアの支援の現場を見に行ったこともあったそうです。「ゼミの先生がインド政治を専門にされていたので、毎年ゼミ生でインド旅行にも行きました。また、ゼミ活動ではひとつのテーマに対して先輩方を交えて意見を交わすこともあり、いろんな考えを聞けて刺激的で楽しかったです」と、当時を振り返ります。

就職活動の時期には、東京の新聞社等でのインターンシップに参加し、視野や人脈を広げていきました。「当時は、情報の最前線にいたいという想いが強くて。新聞社やマスコミ関係の仕事に就きたいと考えていました。大学時代は、社労士へのアナテナは、正直まったく向いていなかったですね」と笑います。



国際政治ゼミのメンバーでインド旅行に行った際のひとコマ。

真摯に向き合い 仕事のやりがい 実感する毎日

転職は、雲南市の経営コンサルティング会社への転職でした。「コンサルティングをしていく上で自分の強みになる専門資格を取ってはどうかと言われる、その時に勧められたのが社会保険労務士だったんです」。資格取得に向けて勉強するうちに面白いと感じるようになり、開業後は、よりその楽しさを実感して

いるといいます。「20代で様々な仕事を経験し、30代は専門性を持ちたいと思いました。社労士制度は今年50周年を迎え、県内の先輩社労士の皆さんが積み重ねて来られた知識と経験を拝聴するたびに、一歩でも近づけるようになりたいと思っています。今は、自分の知識と専門性で人の役に立てることにやりがいを感じています」。社会や経済の情勢が変化する中で、その情報をいち早くキャッチし、それに応じた提案を行うことは、大学時代に思っていた情報の最前線にいたいという想いと共通する部分があるのかもしれない。

現在は法文学部の同窓会理事を務めるほか、山陰法実務教育研究センターが実施する社会人学び直しプログラムを受講するなど、島根大学との関わりも健在です。「島根大学での4年間で自由に思いきり過ごすことができたおかげで、自分の視野や人脈が広がりました。現役学生さんには、人と違うことを恐れず自分の興味のある方向へ積極的に動いて、いろんなものを吸収して欲しいですね」。

しまだいい便り

大学の旬な情報をお届け

島根大学が学内外問わず行っている多彩な活動の中から大学の今がわかる選りすぐりの情報をお伝えします。

TOPICS

1

さらなる地域貢献のために 機能強化・組織整備に関する記者会見を実施

島根大学は4月3日(火)に、本学の地域貢献に向けた機能強化・組織整備に関する記者会見を行いました。

平成30年4月より設置され地域からの要請と本学の強みを生かした教育研究体制を整備した自然科学研究科、地域二一ズにさらに応えるための体制の強化である地域未来協創本部、数理データサイエンスの基礎的素養を備えた人材育成を目的とした数理・データサイエンス教育研究センター、地球環境災害軽減に関する教育研究及び国際的学术交流の活性化を目的とした自然災害軽減教育研究センター、また附属病院が行っている特定指定病院としての急性期医療及びがん医療の推進、再生医療の充実、医師派遣の推進についての説明を行いました。

特に地域未来協創本部においては、地域貢献、人材育成、産業界との連携について本部が一括して取り扱う組織を作り、市町村のニーズをより細やかに把握する「島大・地域ジョイント事業(じげおこしプロジェクト)」を実施していくこととしており、服部泰直学長は今後益々地域貢献を推進していきたいと述べました。



TOPICS

2

1231名の新たな門出を祝う 平成29年度学位授与式(松江キャンパス)を挙行

3月23日(金)、平成29年度島根大学学位授与式(松江キャンパス)を、島根県民会館大ホールにて挙行しました。今年度、松江キャンパスでは合計1231名が本学を卒業・修了しました。服部学長から学位記授与、式辞に続き、溝口島根県知事からの御祝辞を賜ったほか、卒業生から今後の飛躍を目指す決意が述べられました。また、式場の外では多数の学生が集まり、卒業生の門出をにぎやかに祝いました。



TOPICS

3

1550名の新たな学生生活のスタート 平成30年度島根大学入学式を挙行

平成30年度島根大学入学式を、4月2日(月)「くびきメッセ」にて挙行しました。本年度は、全学部・大学院を合せて1550名が新たな学生生活をスタートさせました。式では、服部学長が新入学生全員の入学許可を宣言、式辞を述べた後、新入生代表がこれからの大学生活への希望と誓いを述べ、溝口島根県知事の祝辞が野津政策企画局長から披露されました。最後に学歌「天高く」等の合唱で式を終えました。



学長の言及された「地域貢献は理系のみでなく文化芸術においても必要とされている」との言葉、同感です。

(鳥取県米子市・70代女性)

今回CPR選手権の存在を初めて知りました。私も現在救急隊長として心肺蘇生法の指導に携わっているので、今後も応援したいと思います。

(大阪府大阪市・50代男性)

研究紹介のみそ汁の記事は身近な話題で分かりやすかったです。次号も楽しみにしています。

(岐阜県美濃市・20代男性)



TOPICS

4

島根県内初のTAVIを実施しました

重症大動脈弁狭窄症に対する画期的な治療法

4月17日(火)、島根大学医学部附属病院において、県内初のTAVI(タビ)Transcatheter Aortic Valve Implantation(経カテーテル大動脈弁置換術)を実施し、5月1日(火)に記者会見を行いました。

TAVIとは、重症大動脈弁狭窄症に対する画期的な治療法です。胸を大きく切り開いたり、心臓を停止させたりすることなく、折りたたんだ状態の人工弁を大腿動脈あるいは心尖部からカテーテルを通して大動脈弁の位置に血管内から留置します。外科的な大動脈弁置換術と比べて、術後の回復が非常に早いことが特長です。

当院では、昨年7月、高度外傷センターのハイブリッド ERが完成し、TAVIを行う設備面が整いました。同時に、緊急性の高い循環器系疾患に対し、迅速に最新の医療機器等による正確な診断と治療を行うことで、患者さんの救命とスムーズな社会復帰を目指すことを目的とした「総合ハートセンター」を開設し、本年2月に島根県内初となるTAVIの施設認定を取得。今回の実施へと繋がりました。



TOPICS

6

障がいに関わらず学びやすい環境整備を 車いす用エレベーター運用開始

島根大学では、これまで学内に「障がい学生支援室」を設置し、障がいの有無に関わらず、平等な高等教育が受けられるための、合理的配慮並びにバリアフリー化を推進してきました。今回、特に車いすを利用する学生から要望のあったメインストリートから教養棟2号館等へのアクセスの利便性を図るため、車いす用エレベーターを保健管理センター横に設置し、4月27日(金)に運用開始されました。

TOPICS

5

行政機関との協働でインバウンド対策に貢献 出雲市観光パンフレット「フランス語版」を作成

行政機関との協働でインバウンド対策に貢献



島根大学法文学部言語文化学科フランス言語文化研究室では、出雲市経済環境部観光課インバウンド推進室と出雲観光協会との協働により、出雲市観光パンフレット「フランス語版」を作成しました。パンフレットは、日本人学生、本学協定校のリヨン第3大学からの留学生が出雲市内を見学し、掲載内容について行政機関との協議を重ね、フランス語による紹介文の作成・翻訳作業を経て、3月末に完成しました。

読者の声 Voice

広報しまだい
vol.36に
寄せられた声をお届けします。

地域貢献を目的とした「こころとそだちの相談センター」の存在の重要性を強く感じました。

(島根県隠岐郡・60代男性)

もう少し出雲キャンパスの事も
のせていただくと嬉しいです。

(島根県松江市・50代女性)

7

グローバルな視点を養う
海外インターンシップを実施しました



島根大学総合理工学部・研究科では2月26日(月)～3月2日(金)に、タイ・バンコクにて10名の学生が海外インターンシップを行いました。この事業は、海外の企業における就業体験を通して、文化や価値観の違いを体感し、グローバルな視野を養うと共に、社会の中で自立して活動できる積極性や判断力、コミュニケーション能力を身に付けることを目的とし、島根県や島根大学にゆかりのある企業5社の協力のもと実施しました。

最終日には、在タイ日本国大使館にて寺島一等書記官より今日のタイ情勢や、大使館の役割について、その後、独立行政法人日本学術振興会バンコク研究連絡センターの古屋副センター長、独立行政法人国際交流基金バンコク日本文化センターの玄田次長兼日本語部長より各機関の活動内容について説明を受け、参加した学生が積極的に質問するなど活発な質疑応答が行われました。

海外インターンシップの締めくくり

として、バンコク・スクンビット39にある本学卒業生が営むレストラン「寅次郎」にて成果報告会も開催し、参加した学生10名が今回のインターンシップにて感じたことや学んだこと、今後の抱負についてタイ語や英語を交えながらスピーチを行いました。学生からは、受け入れ先の企業への感謝の言葉だけでなく、再びタイを訪問したいといった声が聞かれました。

8

島根大学の魅力を県内ケーブルテレビで伝える
島根大学PR番組を放送中



島根大学では、大学の魅力を広くお伝えするため、4月から1ヶ月に1回、1年間を通して島根大学PR番組「しまだいへ行く!」を山陰ケーブルビジョン株式会社と共同で制作し、島根県内ケーブルテレビ全14局にて放送しています。学生や教員へのインタビューを交え、現役学生が明るく元気に本学を紹介していきますので、ぜひご視聴ください!(放送日は各ケーブルテレビ局にお問い合わせ下さい。)

荒れた森林を元気にしよう!
私たちは森林保全の輪を広げる活動を展開しています。

山陰合同銀行

島根大学オリジナル芋焼酎
神在の里 好評発売中

生物資源科学部神西砂丘農場で生産されたサツマイモ「ベニアズマ」を原材料とした「芋焼酎」

●神在(かみあり)の里(720ml) 2本入りセット 3,200円(税込)

島根大学生協同組合
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 TEL0852-32-6240
<https://www.shimadai.coop/>

求人情報 **メリット**

Webメリット

鳥取・島根のおしごとサーバー

株式会社メリット
松江市古志原5-2-43
TEL.0852-23-1749

毎回、国際交流や留学生の記事が目立ちますが、卒業生としては、出身学部や学科の現在の姿も知りたく思います。

(兵庫県神戸市・60代女性)

子どもが島大に通っていますので、興味深く拝見しています。地元の方々に島大を知っていただくことができ、うれしいです。

(島根県松江市・50代女性)

島大のグローバル化により期待しています。頑張ってください。

(島根県安来市・70代男性)



TOPICS

10

咲き誇る桜の中の春のひと時 平成30年度「春の農場一日開放日」を実施

生物資源科学部附属生物資源教育研究センター本庄総合農場では、4月21日(土)に、平成30年度「春の農場一日開放日」を実施しました。今年度は、3月末頃から気温が高く開放日のサクラの状態を心配しましたが、普賢象(ふげんそう)などの遅咲きのサクラが満開となり、学内外から900名を超える多くの人々が訪れました。また、農場生産物の販売、学生によるお茶席もあり、終日賑わいを見せました。

TOPICS

9

新たな事業展開に向けて津和野町長来訪 島大・地域ジョイント事業「じげおこしプロジェクト」



4月18日(水)に津和野町から下森町長ほか職員5名が島根大学を訪問されました。これは、1月31日(水)に本学の津和野町担当である武田副学長が下森町長を訪問し「じげおこしプロジェクト」の概要について説明し、課題や現状等について行った意見交換を受けて、津和野町における要望等をまとめられ、来学されたものです。これを契機として具体的なプロジェクトへ発展することが期待されます。

島根大学支援基金への多額寄附者を顕彰

「島根大学支援基金寄附者芳名板」が完成しました



芳名板を前に学内関係者

3月28日(水)、松江キャンパス本部棟1階に島根大学支援基金寄附者芳名板が完成しました。この芳名板は、平成29年1月以降に島根大学支援基金にご寄附を賜りました個人(10万円以上)、法人・団体(50万円以上)のご芳名を顕彰するために設置したものです。

芳名板で顕彰させていただきました方々をはじめ、ご寄附を賜りましたすべての皆様に深く感謝申し上げます。

同基金では、皆様からのご寄附を学生支援などに活用させていただいており、平成18年度の基金設置以来、卒業生をはじめ保護者や地域、企業・団体など多くの皆様から温かいご支援を頂戴しております。

本学では、平成29年度に島大会員の発足、古本募金や遺贈の受入れに係る事業者と提携開始するなど、同基金への幅広いご理解・ご協力をいただくための取り組みを進めており、今年度は、経済的な理由により修学が困難な学生への経済的支援や、意欲にあふれる学生への留学支援や学生ベンチャー支援など、本学学生への支援をより一層充実させることとしています。

学生が輝く島根大学を推進していくため、引き続き皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

同基金に係るパンフレットについては、ご希望の方に郵送しておりますので、総務部総務課支援基金担当(TEL0852-32-6015)までお気軽にご相談ください。



読者の声 Voice

広報しまだい
vol.36に
寄せられた声
をお届けします。

古本募金は気軽にできそうですね。

(島根県松江市・50代女性)

「県外出身学生にもっと島根で
就職してもらいたい」という学長の
言葉はその通りだと思います。

(長野県松本市・60代男性)

しまだい × 島根のまち

各学部・学科単位で県内様々な市町村とのつながりをもつ島根大学。その広いつながりの中で、大学と地域、2つの要素が合わさったとき、一体どのような効果が生み出されているのか。具体的な取り組みを交えて紹介します。

世界を繋ぐ 縁結びプロジェクト

国際交流課

地域住民との国際交流を通じて相互理解を深める

島根大学の留学生が3泊4日の行程で邑南町に滞在し、地元住民との交流、異文化理解を目的としたプロジェクトを行っています。昨年度は8回目を迎え、留学生が高齢者福祉施設や小学校へ赴き、出身国の紹介や地域の方による伝統芸能の鑑賞等を通じて、様々な年代の住民の方と交流を行いました。また、農家民泊を通して、稲刈り、そば打ち、野菜収穫、五右衛門風呂体験など、日本農家の生活や日本の食文化を体験したほか、酒造見学や寺社等の日本文化や歴史に触れる活動を行っています。



法経学科 フィールドワーク事業

法文学部

地域の調査を通じて分析力と思考力を養う

法文学部法経学科では、実体経済や様々な地域の実情についての理解を深めるために、法経学科フィールドワーク事業を毎年行っています。学生は、この事業を通じて、それぞれ特徴ある地域の公共交通、医療福祉、産業などについて学んでいきます。邑南町での調査は平成28年度に福祉関連の調査を実施。調査方法を習得するとともに、実社会の現状を多面的な視野をもって分析・思考する能力を養うことができました。



夏季・春季 地域医療実習

医学部

地域医療を担う人材を医療現場で育成

医学部では、低学年から島根県内の地域医療拠点病院・へき地診療所等と連携して実習を行っています。島根の地域医療を肌で感じ、将来地域医療を担う意欲を高めることを目的としたもので、邑南町では公立邑智病院で実施しています。公立邑智病院は邑智郡における唯一の急性期病院で、実習期間中は現地の宿泊施設に滞在しながら、外来診療や夜間救急外来実習等を行いました。



山村調査実習 × 生物資源科学部

調査実習の成果を地域に還元

生物資源科学部・農林生産学科・森林学コースの実習の一環として、平成29年度に邑南町で山村調査を行いました。この調査実習は、山村地域の農林業・生活環境および地域振興の取組みなどの現状を知り、課題を抽出し、どのような解決方法があるかを調査・学習するものです。邑南町では、9集落27軒の農家を対象に交流を図りながら調査を行い、地元住民の方々も交えた調査報告会を通して、成果を還元しました。



邑南サテライトラボラトリー × 教育学部

邑南町と協働して運営する研究拠点

島根大学教育学部地理学研究室と邑南町が、平成26年6月に共同で設置した地域研究の拠点「邑南サテライトラボラトリー」。フィールドワークの現場事務所として、また中山間地域における調査の拠点として機能しています。地域住民の方々には、長年にわたる研究室の調査成果や情報を活用していただけよう、資料の閲覧やイベント等を実施することで、交流拠点としての役割を担っています。



邑南町長
より
コメント

チャレンジスピリット

時代が変わろうと人づくりは不変のテーマです。その中で邑南町は県内自治体の中でいち早く2009年に包括的連携協定を締結し、実績を重ねています。

邑南町は今、自らがしごとを創る人材の育成に努めています。課題に挑戦しながらなりわいを創っていける挑戦者の育成、輩出に大学は何ができるか、この点を多いに期待しています。

邑南町長
石橋 良治 さん



邑南町って どんなところ？

邑南町は、平成16年10月に旧羽須美村、瑞穂町、石見町の3町村の合併により誕生しました。豊かな自然に囲まれた山あいの町ですが、子育て支援事業や食を通じた地域からの情報発信などで全国的な注目を浴びています。

今回紹介する
自治体は…

邑南町



町民の口腔ケア 推進事業

地域包括ケア 教育研究センター

歯科口腔の検査を通じた健康長寿の実現

邑南町の富永一道歯科医師(富永歯科医院)、町役場保健課との共同研究として歯科口腔の検査を行っています。この研究から口腔内の状態と認知症、運動機能や生活習慣病との間に密接な関係があることが明らかとなっています。自治体、地元歯科医師、大学が連携して町民の口腔ケアを通じた健康づくりを推進するこの取り組みは、健康長寿を目指した歯科口腔保健モデルとして全国から注目が集まっています。



しまだい's サークル

Shimadai's Circle

各キャンパスでそれぞれの特色を生かして活動する島大生。運動系や文化系はもちろん、大学を飛び出して活動する団体もあり、活躍の幅は様々です。そんな各団体について、実際の活動内容を交えて紹介します。

松江キャンパス

陸上競技部



1. 現在の部員は45名で、そのうち8割が男子学生です。部員のほとんどが陸上経験者で、大学から種目を変更した人もいるそうです。2. 部活に割く時間が長い分、自由に使える時間が少ない分、時間管理の力が自然と身に付いていくのだとか。

個々の競技力を高めつつ互いに切磋琢磨

活動は週に5回、コーチ2名の指導のもと、短距離・フィールド・長距離の3ブロックに分かれて練習に励んでいます。練習は集中してしっかりと、部活が終わればみんなでご飯を食べに行くなど、緩急をつけて取り組んでいます。冬のシーズンオフ以外は月1のペースで大会があり、最も大きいものが5月の中四国インカレです。その年によって強い種目は変わるそうですが、近年は長距離の層が厚くなり、結果が出始めているのだそうです。部長の前田さんは、「陸上競技は、伸びるかどうかは自分の努力次第。個々で目標を持ちつつ、部員みんなで切磋琢磨していけたら」と抱負を話します。



音楽好きがジャンルを越えて集結

40年余りの歴史を持つ「軽音楽部」は、男女合わせて50名の大所帯です。現在20前後のグループが在籍し、有名アーティストのカバーから、歌なしのインスト、オリジナル曲を演奏するバンドまで、音楽のジャンルは多彩です。活動は不定期で、年に5回のライブを基本に、そのライブに出演するバンドが約1ヶ月前からそれぞれ準備をしていくスタイルをとっています。「ライブは、自分が普段聴かないジャンルの音楽に触れるきっかけにもなりますし、お互いに学びあえる良い機会です」と部長の目瀬さんはいいます。「音楽を楽しむこと」を共有できる仲間たちとの絆も、部の魅力のひとつなのかもしれません。

出雲キャンパス

軽音楽部



1.

©スタジオ・フォト・ワークス



2. 部員の中には大学から楽器を始める人も。部員同士で教え合いながら練習しています。バンドグループを掛け持ちするメンバーもいて、様々なジャンルの音楽をみんなで楽しんで演奏しています。2. 出雲市内のライブハウスを借りてライブを実施することもあるそうです。



島根大学はスサノオマジックを応援しています!

佐藤 公威
選手に
Interview

B1再昇格を目指し 新たなシーズンへ

B1残留プレーオフに敗れ、来季B2リーグへの降格が決まった島根スサノオマジック。わずか1年でB1の舞台から姿を消すことになったものの、日本代表を抱えるビッグチームと戦った経験は、貴重な財産になったはずだ。今季キャプテンを務めた佐藤選手に、今シーズンについて、さらに、来季への意気込みをうかがった。

—松江に住んで1年。
松江の生活はいかがですか?

もうすっかり慣れましたよ。僕の地元も自然が多いところなので、とても住みやすい環境です。それに、松江の人はみんな温かいですね。なんとなく、やさしい人が多いような気がします。

—今季を振り返って、
どんなシーズンでしたか?

自分が思い描いていたシーズンとは全く逆になってしまったというのが、率直な感想です。チーム内の変化が多く、その対応に遅れてしまい、全体が上手くまとまらない時期が長かったように感じます。もっと早い段階でチームがまとまっていれば、もう少し違った成績だったかもしれません。

—キャプテンとしてうれしかったこと、
悩んだエピソードなどがあれば
教えてください。

うれしかったことは、残念ながら何もありません。何試合も勝てなかったこと、選手全員が同じ考え方でプレーできなかったことが大きな悩みでした。全員がプレーやシステムは理解できていましたが、問題は理解するまでの考え方です。考え方が違っていると、プレーそのものが変わってしまう。そこを徹底して共有できていなかったことが、今の結果につながっているのだと思います。

—来季に向けての
意気込みをお願いします。

とにかく1試合1試合、B1昇格のために勝つしかないシーズンだと思っています。昨シーズンの経験を無駄にせず、常に勝つための練習を重ねて試合に挑みたいですね。



profile

#0 佐藤 公威 選手

1984年4月23日生まれ、186cm・87kg、A型、新潟県出身。ポジションはシューティングガード。2017年6月に新潟アルビレックスBBから島根スサノオマジックへ移籍し、キャプテンを務めた。

島根スサノオマジックの
最新情報は…

島根スサノオマジック公式HP <http://www.susanoo-m.com/>

島根スサノオマジック 検索

お問い合わせ先

島根スサノオマジック事務局 ☎0852-60-1866 (平日10時~18時)
また、島大生のホームゲーム運営サポートボランティアも募集中。詳しくは学生支援センターまで。

島根大学支援基金 寄附者一覧

島根大学支援基金は、皆さまからのご寄附を学生支援等に活用させていただく仕組みです。パンフレットは下記ホームページにも掲載しておりますが、郵送もいたしますので、お問い合わせください。

ご協力ありがとうございました。※平成30年2月16日~5月15日までに年度内寄附累計額5千円以上のご寄附をいただいた皆さま(五十音順・敬称略)

個人からのご寄附

石橋 剛	井田 剛	岩倉禎尚	岩原佳子	江草まゆみ	岡田光弘	沖貝 浩	荻野龍彦	奥田和弘	奥村 稔
加藤 雪	金森好浩	金谷一美	菅野哲介	木谷光浩	吉川通彦	木村 猛	小林 茂	佐々木啓祐	佐藤 歩
山上一興	澁谷豪志	清水 整	清水義彦	庄野海斗	杉原 明	千家充伸	高橋洋之	高橋 聖	朔晦和郎
田中 伶	垂井広樹	出川芳明	寺下哲也	内藤 穰	永田まち子	能美龍雄	野中 武	萩原 彰	羽地信子
浜田 太	東 正博	平井明彦	平田 榮	廣瀬昌博	福島律子	前田 守	溝口兼二	道広朋美	宮脇和秀
向山歩鋭	武藤哲也	棟石 均	八木倫洋	山口勝彦	山田一暁	山本博信	行武禎一	横田修一郎	吉田啓二
吉永龍也	米澤明洋								

お問い合わせ/ TEL 0852-32-6015 (総務課 支援基金担当)

<http://www.fund.shimane-u.ac.jp/>

※ご寄附をいただいた皆さまの中で、「HP等への掲載を希望しない」とされた方は、掲載しておりません。

編集後記

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃、4月に入学した1年生も、島根での新生活に少しずつ慣れてきた頃ではないでしょうか。

今回の広報しまだいでは、COC人材育成コース第3期生の活動開始について特集しました。コース生が地域に出かけていき、地域のみなさまと関わりながらいきいきと活動している様子をお届け出来れば、編集スタッフ一同大変嬉しく思います。

また「しまだい便り」にてご紹介している、島根大学PR番組「しまだいへ行こう!」が4月から放送開始となりました。TV番組制作という新たな試みは試行錯誤の連続ですが、大学の活動をみなさまに親しみやすく紹介できるよう、これからも様々な媒体を通して情報発信して参ります。今後ともよろしく願いいたします。

投稿のお願い

「広報しまだい」は、島根大学と地域の方々との相互理解を大きな目的としています。島根大学から地域に情報を発信してほしいこと、地域の方々からの島根大学に関する話題、島根大学に対する要望、その他ご意見、ご質問などをお気軽にお寄せください。ご投稿お待ちしております。

投稿先

〒690-8504 松江市西川津町1060
島根大学 広報室
TEL.0852-32-6603 FAX.0852-32-6630
E-mail gad-koho@office.shimane-u.ac.jp
HP <https://www.shimane-u.ac.jp>

PRESENT

ご意見をいただいた皆さまの中から抽選で10名様に、島大農場で収穫・加工された「柚子ジャム(1瓶)」をプレゼントします。

※当選者のお知らせは発送をもって代えさせていただきます。
※応募締切/平成30年9月7日必着



島根大学でひらく、
君の未来

SHIMANE UNIVERSITY
島根大学

OPEN

オープンキャンパス

CAMPUS

≡ 2018 ≡



松江キャンパス
MATSUE CAMPUS

8.4 sat

- 教育学部
- 生物資源科学部

8.5 sun

- 法学部
- 人間科学部
- 総合理工学部



出雲キャンパス
IZUMO CAMPUS

8.5 sun

- 医学部医学科
- 医学部看護学科

10.14 sun

- 医学部医学科
- 医学部看護学科

ATTENTION ▼
松江キャンパスでは

- 学食などの利用が可能です。
- 学外に駐車場を設けますが、数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

ご参加は事前予約が必要です
※予約の申込メ切は本学HPでご確認ください

裏面に詳細スケジュールがあります

松江 キャンパス
島根大学教育・学生支援機構アドミッションセンター
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
TEL 0852-32-9758

出雲 キャンパス
島根大学医学部学務課入試担当
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
TEL 0853-20-2087

詳しくはコチラ
島根大学HP > 入試情報 > CHECK!
オープンキャンパス

※悪天候時は開催の有無を掲載しますのでご確認ください。
※障がい等により配慮が必要な方は事前にご相談ください。

